

平成21年度病害虫発生予察 警報第1号

平成21年9月14日
長崎県病害虫防除所長

トビイロウンカについては、平成21年8月27日付けで注意報、9月7日付けで防除情報を発表しましたが、その後もトビイロウンカの発生が多く、また、防除の不徹底等により寄生密度が非常に高い圃場や坪枯れの発生が見られています。

現在の発生状況では坪枯れの発生が非常に多くなると予想されるため、9月3半旬から4半旬にかけて株当たり成虫・老齢幼虫を5頭以上認めた場合には早急に防除するようお願いいたします。

病害虫名 トビイロウンカ
作物名 普通期水稻

1. 発生地域(対象地域) 県内全域

2. 発生程度 多

3. 警報発令の根拠

- (1) 9月前半(9月7~11日)の巡回調査(111筆)の結果、発生圃場率は71.2%(平成 30.2%)、株当たり虫数は3.0頭(平成 0.17頭)と非常に多く(図1, 図2)、早急に防除を要する圃場が多数みられた(表1)。また、増殖力のある短翅型雌率が55.3%と高く、急激な増殖が懸念される。
- (2) 9月3半旬(9月11日)の県予察圃場(諫早市、無防除)調査の結果、株当たり虫数は49.0頭(平成 0.4頭)と非常に多く、中齢幼虫主体であった。寄生株率は100%(平成 17.8%)と高かった。
- (3) 9月に入り、坪枯れ被害が県内各地で確認されている。9月上旬のトビイロウンカは若齢~中齢幼虫が主体であるが、今後、発育するにつれ吸汁量が急激に増加することから坪枯れ被害が増大することが予想される。
- (4) 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

4. 防除対策

- (1) 9月中旬に株当たり成虫・老齢幼虫を5頭以上認めたら早急に防除する。
- (2) 本虫の発生は圃場間や同一圃場内でも偏りが大きい。このため、防除を行った圃場でもその後の発生状況に十分注意し、防除効果の確認を行うとともに必要に応じて追加防除を行う。
- (3) すでに坪枯れが発生している圃場では被害の拡大を防ぐため早急に防除する。また多発生圃場で水稻が収穫可能な時期に達している場合はできるだけ早めに刈り取る。
- (4) 本虫は株元を好んで寄生するので、薬剤散布は株元に薬剤が十分に付着するよう丁寧に行う。
- (5) 収穫時期が近いので、薬剤の散布時期に注意し使用基準を厳守する。また、周辺環境を十分に確認し、ミツバチも含め周辺動植物等への飛散などによる影響がないよう十分注意する。

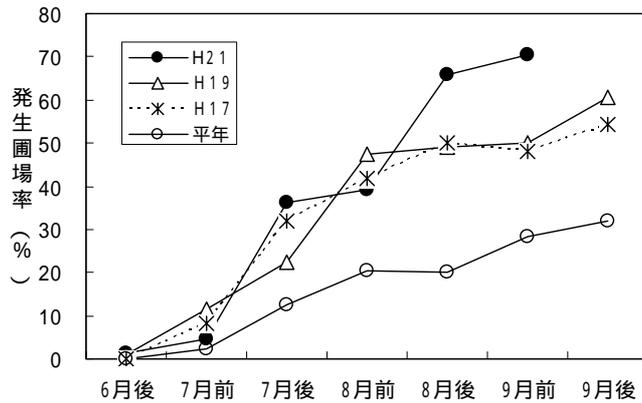


図1 発生圃場率の推移

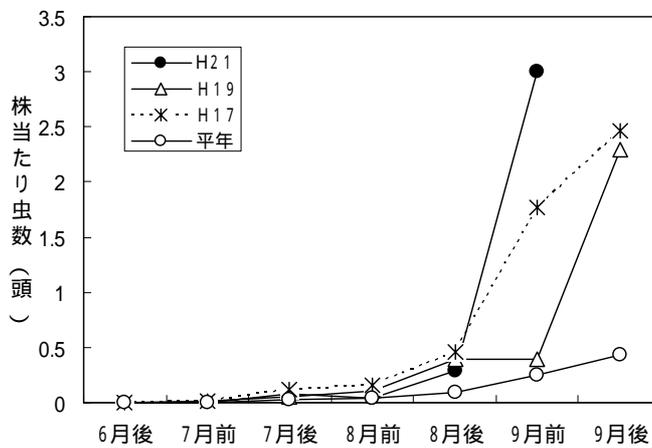


図2 株当たり虫数の推移

H17、19は多発年

表1 普通期水稻111圃場におけるトビイロウンカの程度別発生状況
(平成21年9月7～11日調査)

発生程度	トビイロウンカの株当たり虫数				
	0	0～2未満	2～5未満	5～20未満	20～
圃場数	32	55	4	14	6
(圃場率%)	(28.8)	(49.6)	(3.6)	(12.6)	(5.4)

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnpn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027